



2025年6月1日
6月第一主日礼拝式／聖餐式

「主の御名(みな)を全地の上で」
(詩篇69:30)

主の御名を 全地の上で
あがめよう ほめたたえよう

心こめて 歌おう

心こめて 歌おう

聖霊なる神が

聖霊なる神が わたしの
歌を 賛美に 変えてくださる
このくちびるは 神をたたえる
このくちびるは イエスをたたえる

新聖歌136番 「御霊よ降りて」

1 御霊(みたま)よ 降(くだ)りて 昔のごとく
くすしき御業(みわざ)を あらわしたまえ

* 代々(よよ)にいます 御霊の神よ
今しも この身に 満ちさせたまえ

2 御霊よ降りて 恵みの雨に
渇(かわ)ける心を 潤(うるお)したまえ * くりかえし

3 御霊よ降りて 汚れをきよめ
尊(とうと)き救いに 入らしめたまえ * くりかえし

4 御霊よ降りて か弱きわれを
きよけき力に 富ましめたまえ * くりかえし

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌46番 「わが主よ 今ここにて」

- 1 わが主よ 今ここにて 親しく見^(まみ)えまつり
限りなき幸いを 受くるこそ うれしけれ
- 2 恵みの足^(た)れる時よ いのちの充^(み)てるおりよ
今しばし 留^(とど)まれや 主と共に われ過ごさん
- 3 ここには贖^(あがな)いあり ここには慰めあり
わが汚れ きよめられ み力は満ちあふる
- 4 面影^(おもかげ)うつししのぶ 今日だに かくもあるを
みくににて祝う日の その幸^(さち)や いかにあらん
アーメン

新聖歌432番 「北の果てなる」

- 1 北の果てなる氷の山 照る日に焼くる まさごの原
叫び求むる 声ぞ響く「迷いのくさり ときはなて」と
- 2 恵みのつゆは草木にすら 豊かにかかり 天つ栄え
野にも山にも満ち渡るを などか人のみ 罪に染みし
- 3 上なき知恵に照らされたる 我らはいかで この光を
暗きにまよう 世(よ)の民らに
照らさで隠し 秘(ひ)め置くべき
- 4 聖き主イエスの 再臨(のぞ)みたもう 時の来るまで
いよよ励み 救いの光 高くかけ
あまねく照らせ 四方(よも)の国に アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌60番 「天地(あめつち)こぞりて」

あめつち こぞりて

かしこみたたえよ

みめぐみ あふるる

父 御子(みこ) 御霊(みたま)を

アーメン